ことばの教室だより

秋号

令和６年１０月
富士市立幼稚園　ことばの教室

　ことばの教室は、「話すこと、聴くことが大好きな子」を目指して、遊びを通して言葉の発達を促すお手伝いをする教室です。
　お子さんの言葉に関することで心配なことがありましたら、お気軽に相談してください。

○ **発音には発達時期があります。（個人差がありますので、目安として参考にしてください。）**

１歳～２歳頃	３歳～４歳頃	５歳頃～
マ行、パ・バ行、ヤ行の音が出始めます。	ハ行、カ・ガ行、タ・ダ行、ナ行の音が出始めます。	サ・ザ行、ツ音、ラ行の音が出始めます。

お子さんがこのような話し方をしていませんか？

【発音】

お　た　あ　た　ん、
（おかあさん、）
あ　た　い　は　な　、
ち　れ　い　ね。
（あかいはな、きれいね。）

そうね。
あかいはな、
きれいね。

○間違った発音で話した時は、聞く側が聞き取りやすいように**「正しい発音」**で伝えましょう。
（言い直しはさせないでください。）
○幼児期は、赤ちゃん言葉（例：くっく、ないないして　など）ではなく、正しい言葉で話し掛けましょう。
（例：靴を履こうね、片付けようね　など）

【吃音】

ぼ、ぼ、ぼくね、よ――ちえんでね、
・・・つみきであそんだよ。

つみきで
あそんだ
んだね。

○指摘をしたり、「慌てないでゆっくり話そうね。」と言い直しをさせたりしないようにしましょう。
○子どもの話を最後までじっくり聞いてあげて、思いに共感してあげることが大切です。

【言葉が少ない、うまく話が伝えられないことが多い　など】

あ　！（あれ！）
ブーブ！！（車）

そうだね。車だね。

○買い物などで実物を見せながら「りんごだね。」とゆっくり言葉を知らせていきましょう。
○子どもの行動や気持ち合わせて「帽子を、かぶろうね。」「おいしいね。」など言葉掛けをしましょう。

正しい発音で話ができるようになるために、家庭でできることを紹介します。

噛むこと

- 口を閉じて、奥歯で左右交互に噛みます。
- 食材を小さく切って出すのではなく、自分で噛みちぎって食べるようにしましょう。（噛む回数が増えます。）
- おやつに歯ごたえのある物を取り入れましょう。（グミ、ガム、するめいかなど）

舐めること

- ペロペロキャンディやアイスなどを、舌全体を大きく動かして舐めましょう。

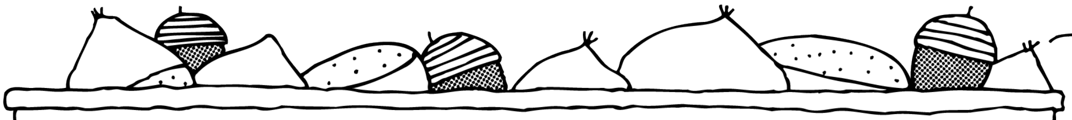
（口周りにアイスなどが付いた時に、舌で舐めてきれいにしてみましょう。）

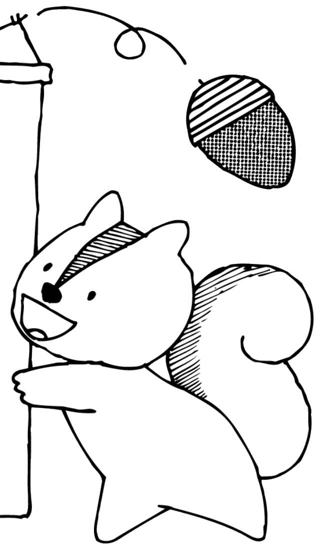
吹くこと・吸うこと

- 口をしっかりすぼませて、口の真ん中から息を出して吹くことが大事です。
- 冷たい飲み物はストローを口の真ん中で浅めにくわえて、飲みましょう。
- 温かいスープなどをフーフーして冷ますといいですね。
- シャボン玉を吹いて遊んでみましょう。

言葉についての相談・申し込みは・・・

○公私立幼稚園・保育園・こども園等に在園している場合は、通っている園の園長先生を通して申し込みをします。
○入園前のお子さん（満３歳以上）の場合は、直接、ことばの教室に連絡してください。



○	岩　松　幼稚園	松岡８０４	☎　６１−１２２７
○	昭　和　幼稚園	比奈１６０	☎　３４−０３００
○	田子浦　幼稚園	川成島１３８−１	☎　６１−２１５４
○	みなみっこ	横割五丁目１０−１	☎　６１−２１５４

（※みなみっこでの指導をご希望の場合は、田子浦幼稚園に連絡してください）